

幼い子向け？ いえいえ、生そのものの機微がおどりだす、それがアンデルセン作品！

アンデルセン ショートセレクション

人魚姫

訳 木村 由利子

絵 ヨシタケシンスケ



対象年齢 小学校高学年くらいから
定価 1,430 円（税込）
ページ数 p215
サイズ B6
ハードカバー
ISBN 978-4-652-20701-7
発売 2026 年 1 月 20 日

「近代童話の確立者」ともよばれ、
百か国以上の言語に翻訳され愛されている
デンマークの作家・アンデルセン。
美しいだけでなく、自身のドラマティックな
経験をも感じさせる原著の、
生の機微溢る味わいをそのままに。

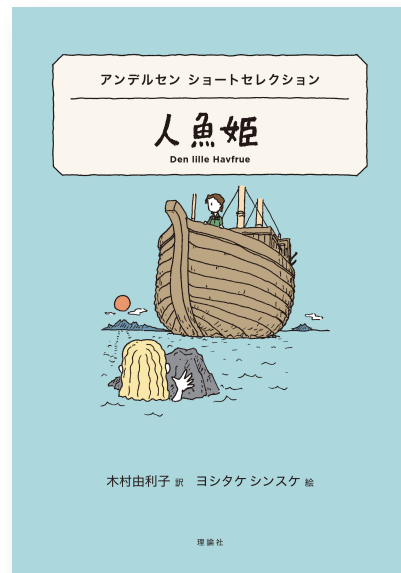
アンデルセン作品は百か国以上で翻訳され、二百年近く経った今も
読み継がれている。自伝で「私の生涯は美しい童話のようだ」とあるが、
その人生は実にドラマティック。作中にもそれが多く滲み出ている。

「恋人たち」には初恋の女性との実らなかった恋、その決着が。

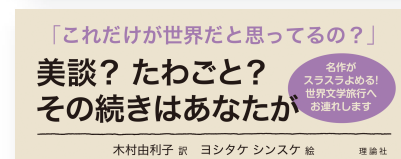
「影」には生涯こだわった人間関係の歯痒さが。

日本では幼児向けとして親しまれる作品も多いが、

「童話」枠に留まらない多面的な魅力を本著でぜひ知ってほしい。



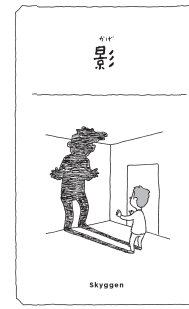
◀ 表紙



◀ オビ



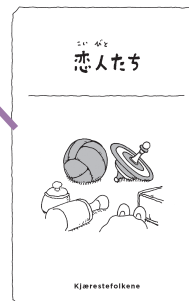
こんな夫婦で
いられたらなあ…
(憧れ…)



村上春樹氏が
スピーチで
触れたおはなし



アンデルセンの
初恋に
まさかの結末



アンデルセンの
自伝的
おはなし

ハンス・クリスチャン・アンデルセン Hans Christian Andersen

1805年デンマーク・オーデンセに生まれる。

大学退学後、めざしていた舞台での成功は手にできなかったものの小説『即興詩人』で名声を得る。

また「親指姫」などをふくむ『こどものための童話集』で童話作家としても注目をあび近代童話の確立者ともよばれる。

生涯で156編もの童話を書き、100か国以上の言語に翻訳され愛されている。1875年没。